

近衛殿跡



このえどのあと



桜の御所を偲ぶ

藤原北家の五摂家筆頭の近衛家別邸。庭に咲く糸桜の見事さが有名で、「桜の御所」と呼ばれた。同志社大学学生会館の発掘調査で、その建物の一部が見つかった。

新町通上立売下る近衛殿表町
<同志社大学歴史資料館提供>

細川典厩邸跡



ほそかわてんきゅうていあと



將軍義晴を支えた人々

洛中洛外図によれば、足利政権を支えた管領細川晴元邸は寺之内通の南に、細川典厩邸は北にあった。典厩邸跡の発掘調査で高級陶磁器や刀飾具の筭などが出土。

寺之内通新町西入妙顕寺町
<京都市考古資料館提供>

本満寺跡



ほんまんじあと



天文法華の乱の跡

応永17年に近衛道嗣の子の日秀が創建した日蓮宗寺院。同志社大学溪水館の発掘調査で、本満寺を巡っていたと推定される溝が見つかった。

新町通今出川上る元本満寺町
<同志社大学歴史資料館提供>

宝鏡寺



ほうきょうじ

室町時代を代表する尼寺



寺之内通堀川東入百々町

百々御所、人形寺とも呼ばれる尼門跡寺院で洛中洛外図にも描かれる。

相国寺



しょうこくじ

寺号は左大臣だった義満に因む



今出川通烏丸東入相国寺前町

足利義満が創建した臨済宗相国寺派の本山。京都五山の要。

天下人の面影をたどる



絢爛豪華な安土桃山文化を歩く、**安土桃山時代** 上京区南西のコースです。

聚楽第濠跡



じゅらくだいほりあと



秀吉の栄華の跡を偲ぶ

天正15(1587)年に豊臣秀吉が築いた邸宅。天守閣を構え石垣を巡らせた城郭の景観だったという。西陣公共職業安定所の発掘調査で見つかった濠(深さ約8m)。

中立売通大宮下る和木町
<京都府埋蔵文化財調査センター提供>

二条館跡



にじょうやかたあと



室町幕府最後の館

織田信長が永禄12(1569)年に造営を開始した、室町幕府將軍足利義昭の御所。地下鉄の発掘調査で石垣などの遺跡が見つかり、石仏などが多数出土。

室町通下立売下る武衛陣町
<京都市考古資料館提供>

黒田如水邸跡



くろだじよすいていあと

秀吉政権を支えた軍師の邸宅



聚楽第の東北にあたり、黒田如水の邸宅があったとされる。木村重成は豊臣秀頼の家臣で夏の陣で戦死。

一条通猪熊西入如水町

北野大茶湯の碑



きたのおおちゃゆのひ

全国から集まった数寄者800人余



天正15(1587)年10月1日、秀吉主催の大茶会が行われた。

御前通今出川上る馬喰町

京都

上京区散策マップ

上京を歩く

かみぎよう

ある

其の式

40.

ものづくりの源流をたどる



京都のものづくりの源流を歩く、**江戸時代** 上京区東部のコースです。

鏡工房跡(青氏関連)

かがみこうぼうあと (あおしかんれん)



上京のものづくりの原点

同志社大学学生会館の発掘調査で、江戸時代の大規模な鏡工房が見つかった。南へ200mの畠山町には、禁裏御用鏡司の青氏があり関係が考えられる。

上立売通新町西入西大馬町
<同志社大学歴史資料館提供>

伊藤仁斎古義堂跡

いとうじんさいこぎどうあと

門人は3000余人-堀川学派の拠点



東堀川通下立売上る
四丁目

寛文2(1662)年、自宅に儒学の古義堂を開いた。角倉氏は親類。

山崎闇齋塾跡

やまざきあんさいじゅくあと

垂加神道の創始者



京都の鍼医の子だった闇齋は儒学を学び明暦元(1655)年に塾を開く。

靉屋町通下立売上る元福大名神町

薩摩藩邸跡

さつまはんていあと

坂本電馬と西郷隆盛と木戸孝允がいた



慶応2(1866)年1月、ここで薩長連合が成立したといわれる。

烏丸通今出川上る御所八幡町

水戸藩邸跡

みとはんていあと

幕末の動乱を生き抜いた遺跡



蛤御門のすぐ西にあった水戸藩邸跡から江戸時代の井戸が見つかった。

下長者町通烏丸西入鷹司町
<京都市考古資料館提供>

柳原邸跡

やなぎはらていあと



近世の公家屋敷を掘る

京都御苑内の発掘調査で江戸時代の公家屋敷跡が見つかった。写真は柳原邸の井戸。半地下式で三方を石垣で囲み、階段を設けている。

京都御苑北東
<京都市考古資料館提供>

本阿弥光悦京屋敷跡

ほんあみこうえつぎょうやしきあと

総合芸術家光悦の生誕地



江戸時代を代表する芸術家の光悦が鷹ヶ峰に移り住むまで暮らしていた。灰屋紹益は光悦を敬慕した豪商。

油小路通五辻下る実相院町

尾形光琳屋敷跡

おがたこうりんやしきあと

欧米にも影響を与えた琳派中興の祖



京都呉服商権金屋尾形宗謙の次男で、狩野派にも絵を学んだ。

上御霊前通烏丸東入上る上御霊中町

茶屋四郎次郎屋敷跡

ちやしろうじろうやしきあと

徳川家の呉服師



小川通下長者町角鷹司町

徳川家康の側近として活躍し、朱印船貿易もおこなった豪商。

後藤長乗屋敷跡

ごとうちようじろうやしきあと

京都3長者の1つ



鞍馬口通新町東入
長乗西町

祐崇と共に室町期に始まる装剣専門の金工師の家、歴代の権力者に仕え栄えた。

蛤御門

はまぐりごもん

京中大火 3万戸



烏丸通下長者上る
京都御苑

元治元(1864)年7月19日、長州軍がここから御所に迫った(蛤御門の変)。

京都守護職屋敷跡

きょうとしゆごくごしよくやしきあと

幕末京都の治安維持を担う



京都府庁内

文久2(1862)年設立された役職で、その役宅が文久3年に新築された。

京都観光ガイド

●観光

京都市観光案内所……………☎075-343-6655
京都市観光協会……………☎075-752-0227
京都観光旅館連盟……………☎075-221-6231
京都館情報コーナー(東京都) ……☎03-5204-2265

●交通

京都市交通局市バス地下鉄乗客案内所
……………☎075-801-2561
JR料金・時刻案内……………☎0570-00-2486
新幹線料金・時刻案内……………☎06-6452-3730

●その他

京都週間天気予報……………☎075-231-9999

●その他

上京区ホームページ
……………<http://www.city.kyoto.jp/kamigyo/>
京都市観光情報システム
……………<http://raku.city.kyoto.jp/sight.phtml>
京都市情報館
……………<http://www.city.kyoto.jp/koho/>

上京歴史探訪館

～上京の歴史文化情報を地元から発信～

〒602-8176 京都市上京区下立売通智恵院西入(京・町家文化館内)
3月～5月、7月～11月の金～日曜日のみ開館。10時～16時。
入館無料。駐車場なし。
TEL・FAX: 075-812-2312
<http://kamigyo.doshisha.ac.jp>
(携帯版) <http://kami.doshisha.ac.jp>

このマップでは、上京区に各時代ごとに重層的に存在する歴史的に重要な場所や文学の舞台となった場所に身近にふれることのできる散策ルートを紹介しています。

監修: 鋤柄俊夫(同志社大学文化情報学部助教授)
協力: 出雲路敬直(下御霊神社宮司)
編集: 市澤泰峰(京都大学院)、中川敦之(同志社大学院)、松本尚子・谷口浩史・竹井良介・渡部和孝・中村尋・佐久間和彦・並木晴香・櫻淳志・青山友香・東峰裕之・渡邊俊祐・田中千紗子・上田卓(同志社大学)

発行: 京都市上京区役所 ☎075-441-0111
発行日: 平成18年2月10日
※平成19年3月HP版作成の際に一部修正を加えています。

イベントカレンダー

(主な年中行事)

3月 春の人形展/宝鏡寺
千本釈迦念仏/大報恩寺
(千本釈迦堂)

4月 春の一般公開/京都御所
春の特別拝観/相国寺
北野をどり/上七軒歌舞練場

5月 葵祭
ゑんま堂大念仏狂言/引接寺 (千本ゑんま堂)
御霊祭/上御霊神社



春

夏



6月 御誕辰祭・大茅の輪くぐり
/北野天満宮
夏越祓/白峯神社

7月 御手洗祭・七夕祭/北野天満宮
精大明神例祭/白峯神社
陶器供養法要と陶器市/大報恩寺
(千本釈迦堂)

8月 大文字五山送り火

9月 上京新能/白峯神社
萩まつり/梨木神社

10月 時代祭
すいき祭/北野天満宮

11月 秋の一般公開、特別公開、特別展/京都御所、
宝鏡寺(人形寺)、茶道資料館、承天閣美術館など
亥子祭/護王神社



秋



冬

12月 大福梅の授与葵祭/北野天満宮
終い天神/北野天満宮
大根焚き/大報恩寺(千本釈迦堂)

1月 筆始祭・天満書/北野天満宮
初天神/北野天満宮

2月 追儺式鬼法楽/廬山寺

花の御所と 桜の御所



『洛中洛外図』を歩く、
上京区北東部のコースです。

室町時代

御霊神社(上御霊神社)

応仁の乱勃発の地



応仁元年(1467)11月18日、畠山政長と義就の戦いがおこり、応仁の乱が勃発した。

上御霊前通鳥丸東入上御霊町

百々橋跡

応仁の乱の激戦地



この橋を挟んで東西両軍が対峙した。現地には礎石が残されている。

寺之内通堀川東入百々町

室町殿跡

むろまちどのあと



室町時代の日本の中心

足利義満が造営した将軍の邸宅。同志社大学寒梅館の発掘調査で義晴時代(16世紀中頃)の室町殿の施設が発見された。寒梅館北東隅に展示施設がある。

鳥丸通上立売下る御所八幡町
<同志社大学歴史資料館提供>

小川跡の碑

上京一の繁華街



洛中洛外図によれば、小川の周辺に様々な商店や寺院が立ち並んでいた。

小川通今出川下る針屋町

山名宗全邸跡

東軍までの距離500m



応仁の乱で西軍を率いた山名宗全の邸宅跡。

堀川通上立売下る山名町

五辻通から 持明院大路へ



藤原定家と歩く、
上京区北部のコースです。

鎌倉時代

持明院殿跡

もうひとつの京の中心



大覚寺統(のちの南朝)と皇位を争った持明院統の仙洞御所。

新町通寺之内下る安楽小路町

五辻殿跡

鳥羽天皇と後鳥羽上皇にゆかりの地



承久の乱や和歌で有名な後鳥羽上皇の邸所のひとつ。

五辻通十本東入西五辻町

持明院大路跡

じみょういんおおじあと



鎌倉時代のメインストリート
現在の上立売通は鎌倉時代に持明院大路と呼ばれ、菊亭など貴族の邸宅が建ち並んでいた。同志社大学寒梅館の北端から、持明院大路の南限を示す溝が見つかっている。

上立売通鳥丸西入上立売東町
<同志社大学歴史資料館提供>

宝慈院

鎌倉の風を感じる



北条氏の一流である金沢氏に嫁いだ無外如大尼を創建とする尼門跡。

衣棚通寺之内上る上木下町

北志寮地点

定家と同じ時代を生きる



定家の一条京極邸に近い同志社北志寮地点から見つかった鎌倉時代の遺跡。

寺町通一条染殿町

上京区の主な資料館

京都市歴史資料館



寺町通丸太町上る
☎075-241-4312
9:00~17:00/無料/月
曜、祝日、12/28~1/4休
み
(歴史相談と閲覧室は土・日
閉室)

京都市の歴史に関する古文書を中心とした資料を収集・保存・公開しており、展示室では一年を通じて企画展・テーマ展などを開催しています。閲覧室では歴史関係の図書や古文書の閲覧や歴史相談も行っています。また映像展示室では、40本の年中行事や祭りなどのビデオが見られるほか、ホームページでは歴史年表や歴史解説、市内の史跡石標約1000基のデータを配信しています。

[<http://www.city.kyoto.jp/somu/rekishi>]

京都市考古資料館



今出川通大宮東入
☎075-432-3245
9:00~17:00(受付終了
16:30) 無料/月曜(祝日
の場合は翌日)、12/28~
1/3休み

一階は特別展示、二階は常設展示に分かれ、京都市内の発掘写真や出土した遺物が展示されています。

常設展示の時代別コーナーでは、上京区の遺蹟も扱われています。

平安宮の内裏跡や内酒殿跡、藤原頼通の邸宅である高陽院跡などの発掘写真や出土土器、陶磁器などが展示されています。

資料をよく観察すれば、上京区の遺蹟が日本の歴史や文化と直接繋がっていることが理解できます。思いをはせて、古代にタイムスリップしてください。

[<http://www.kyoto-arc.or.jp>]

平安宮周辺 を歩く



平安貴族と歩く、
上京区南西部のコースです。

平安時代

朝堂院跡(宣政門跡)

ちょうどういんあと(せんせいもんあと)



天皇の即位儀礼を見る

朝堂院は大極殿を中心に天皇の即位や外国使節の謁見など国家的儀式や行事を行なった場所。宣政門は、その東面に設けられた門で、写真は階段の一部。

竹屋町通千本東入主税町

<京都市考古資料館提供>

中務省跡

なかつかさしょうあと



エリート官僚になりきる

内裏の南にあって、詔勅の作成や総務など天皇および内廷関係の諸事を担当した役所。写真はその築地跡。周辺から「内舎人」などの墨書土器が出土。

土屋町通丸太町上る中務町

<京都市考古資料館提供>

内酒殿跡

うちのさかどのあと



天皇の食事を調理

内裏の東にあった。播磨からの庸米で酒を造っていたという。写真の井戸は木枠の一边が2.1m、深さは6.9m。高級陶磁器と「内酒殿」の木簡が出土。

智恵光院通出水下る分銅町

<京都市考古資料館提供>

内裏内郭回廊跡

だいいりないかくかいりうあと



源氏物語の舞台を歩く

天皇の宮殿である内裏の内側を巡っていた回廊。写真は南西隅に近い西辺の基礎と雨落ち溝。ここから東が内裏の主要部。東北に紫宸殿が、南東に内裏内郭南門の承明門がある。

千本通下立売東入田中町

<京都市考古資料館提供>

豊楽殿跡

ぶらくでんあと



盛大な賀正大礼賜宴をおも

う大嘗会や年中の諸節会など、国家的な饗宴が行なわれた豊楽院の中心建物。基壇は凝灰岩の切石を用い、屋根の軒と棟を緑釉の瓦が飾っていたと推定。

中京区聚楽廻西町

<京都市考古資料館提供>

造酒司跡

みきのつかざあと



平安京の模型展示

朝廷で用いる酒及び酢類の醸造を担当した役所。写真は製造した酒を収納する倉庫跡と考えられている。京都アスニーの中庭に柱穴の表示があり、建物内に平安京の模型を展示。

中京区聚楽廻松下町

<京都市考古資料館提供>

高陽院跡

かやのいんあと



平安貴族の華麗な生活

桓武天皇皇子賀陽親王の邸宅を入手し、拡大して治安元年(1021)に落成した藤原頼通の邸宅。海龍王の御殿と言われる豪邸だった。写真は池跡の一部。

中京区丸太町堀川東入丸太町

<京都市考古資料館提供>